

## ◇今年も高岡が二勝！〜本山杯野球大会〜

八月三十日（土）、第五十八回本山杯野球青年野球大会（富山教区担当）が県営富山野球場にて開催され、寺族青年の親睦とともに熱戦が繰り広げられた。昨年台風接近に伴い中止となったため二年ぶりに開催された今大会は、昨年が続いて高岡教区野球チームが本願寺チーム、富山教区本願寺クレシヤースを破り二勝と本山杯の栄冠を勝ち取った。

富山教区本願寺クレシヤースとの本山杯では、今大会初参加の二選手を含む十五名がチーム一丸となって富山教区に六対一で勝利した。この試合では、初参加の山寄翔真投手（氷見組明善寺）が富山打線を二安打一点とほぼ完ぺきに抑えて、終始危なげない試合運びとなり、昨年に続いて本山杯を手にした。

本願寺チームとの対戦では、初回に初参加である富樫慶哉選手（氷見組光照寺）のライトスタンドへの先頭打者本塁打を皮切りに初回到四点を取ったものの、三回に本願寺が連打を重ね同点に追いつく。一ソーゲームな展



開となった。終盤までもつれた試合は、高岡チームが満塁からの連打で二点を勝ち越し、六対四で勝利し前回大会に続いて二勝を挙げた。また、富山对本願寺の試合では九対八で富山が勝利した。今年の本山杯野球大会は各チームに高校生や大学生等フレッシュな若手が加わり、猛暑の中はつらつとしたプレーで各チームを引っ張ったのが印象的であった。

尚、本山杯 MVP には、本願寺との対戦で先頭打者本塁打を放った富樫慶哉選手（氷見組光照寺）が選ばれた。敢闘賞には富山戦で先発・完投した、山寄翔真投手（氷見組明善寺）が選ばれた。大会終了後、夕方より、本山、富山、高岡の各教区野球部関係者による表彰式と交歓会が呉羽ハイツで開催され、お互いの健闘を称えあった。

次回も二勝を目指して高岡教区担当で二〇二六年八月最終土曜に行なわれる予定である。

## ◇教区災害救援活動専門委員会

### 寺族青年会茶話会ボランティア

去る八月二十九日（金）輪島市門前町諸岡地区道下第二団地集会所にて、災害救援活動専門委員会と寺族青年会が茶話会を行った。

かき氷や呉羽梨・いちじく・夏野菜等を茶話会の席に配り、お菓子を食べながら被災者の方々との対話の時間を設けた。

若手僧侶が十分程度の法話をを行った後、ゆっくりと傾聴する時間を設け、皆さんが話すことのできる場所作りを意識して積極的に寺族青年会員達が話かけに行っている姿は、炊き出しとは違った支援活

動の形であり、今後も続けていきたいと感じた。

最後に、仏教婦人会からの寄付でいただいた梅干し、ご門徒さんからいただいた夏野菜や呉羽梨、お菓子などを小分けにして配布した。参加者の方々からは「美味しい梨を食べることができて嬉しい。」「夏野菜いただけで嬉しいです。ありがとう。」と喜んでいただけた。



◇仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合同  
実践運動研修会開催

去る八月二十七日(水)

午後一時三十分より高岡教区仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合同実践運動研修会が開催された。今年度のテーマは、『時代社会の変容の中でこれからの浄土真宗を考える』に設定し、



ご講師は林史樹さん(伏木組要願寺)と福田慶隆さん(五位組廣濟寺)のお二人をお迎えし、研修会を行った。

研修会は、仏教婦人会連盟寺院女性会連盟合わせて七十二名に参加をいただき、福田慶隆さんの問題提起のあと、七班に分かれて理解を深め、そして、全体会では、各班からの意見集約をもとにご講師の林さんより助言がなされた。

各班より、様々な意見が出され、それに対して「これからの浄土真宗を考えるうえで、私たちが大切にすべきこととは何か。そのため何を改めていくのか。ともに話し合い中でみ教えに基づいた在り方を目指すことが大切なのは」と助言がなされた。

☆お知らせ☆

高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります。

お電話で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

※担当の北鹿渡までご連絡ください。

法語カレンダー . . . . . 160円

ほのぼのカレンダー . . . . . 150円

月々のことば . . . . . 1000円

心に響くことば . . . . . 140円

## ◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇二五報告

八月四日(月)午後二時より「第三十二回全戦没者を悼み平和を願うつどい」を西本願寺高岡会館礼拝堂で開催いたしました。

全戦没者追悼法要では泉井敬文教務所長の調声、第一、第二ブロックの組長の結集による正信念仏偈を勤修し、多くの参加者が先の大戦で亡くなられた方々への追悼をいたしました。

記念講演では本願寺史料研究所研究員の近藤俊太郎さんを招き「戦後八十年を迎えて―戦時下の本願寺と現在の私―」というテーマで講義をしていただきました。

講義では「戦時下での教団による戦争協力」の具体例として①門主消息、執行長訓告による僧侶・門信徒に対する協力の呼びかけ②戦争および国家神道体制を正当化する戦時教学の確立③仏教婦人会教化や仏教青年会などの教化団体での報国のつどい等の開催④兵士に対して戦争を正当化し、恐怖や不安を取り除くことを目的とした従軍布教・また海外での占領地域での布教活動である海外開教⑤現世では天皇や国家に従い、死後のことは阿弥陀如来にお任せという、誤った真俗二諦の教旨を積極的に打ち出した、という事例を挙げられました。

中でも、教学を歪曲した真俗二諦を普及させるために門主の権威を利用し、それが近代本願寺派教学の基本線となり、教団が積極的に軍国主義に追随する推進力となったことを指摘されました。従軍布教の一例として日露戦争旅順総攻撃時に投入された第九師団に対する従軍布教が挙げられます。第九師団は主に石川・富山・福井といった北陸出身者で構成され、その多くは真宗門徒であったと言います。出撃を控えた兵士に対し、従軍僧として派遣された布教使は「明日からの戦いは仏教の不殺生戒には少しも抵触しない。なぜならこれは平和と正義のための戦いだからである。

捕虜や負傷者に対しては慈悲を示すべきであるが、国家のために死ぬのは名誉なことであるから身を惜しまず戦いなさい。恐怖が生じたならば念仏を称えて頑張るべきである」という趣旨の法話をした記録が残っています。この第九師団の兵士は口々に「南無阿弥陀仏」と称えながら、機関銃陣地に突撃し多数の戦死者を出すこととなりました。その様は「念仏突貫」と呼ばれたそうです。当時の記録には「第一回の総攻撃で第九師団はほとんど全滅と言われた。真宗門徒の半死半生の兵士は皆口の中では称名を唱へて居る。夜になると全部が『南無阿弥陀仏』をやるのでそれがごうごうと聞こえる位である。助けてくれなどと言う者は一人もいない(要約)」とあり、宗教利用の恐ろしさが如実に表れていると言えるでしょう。

また、終戦五十周年全戦没者総追悼法要を契機として戦争に関わる教団の諸事実を厳しく問い教団の取り組むべき課題をあきらかにするために「戦争問題」検討委員会を発足したことを挙げ、そこで示された種々の課題は、そこから三十年近くが経過した今なお、教団の今日的な課題であると指摘されました。

教団の戦後問題に関する制度的な決着はついたものの、それだけでは不十分であり、教団に関わる一人一人が平和を願う取り組みに連なり、自身の信仰を絶えず確かめることが不可欠であると思えます。また、政治と宗教をめぐる問題が複雑化する現在、戦争と仏教・教団をめぐる歴史について主体的に学びを深める重要性はますます高まっていると教えていただきました。

本年のつどいやこれまでの集いで学んだ事を熟考しこれからも非戦・平和の学びを深めていきたい。また、九月十七日に東京・千鳥ヶ淵で行われます全戦没者追悼法要にも参加したいと思えます。

【ヤスクニ問題専門委員会委員長 菊地勢滋】

◇これからの日程（9/12～10/28）◇

9月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	
16	聖典セミナー	コーラス（午前）
17	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要（～18日）	富山真宗学会
19	僧侶研修会	
20	僧侶研修会	
23		寺青50周年チャリティーイベントナムナムサンガ
24		同朋委員会
25		ビハーラ高岡公開講座 高寿会研修旅行
26	連研活動推進委員会	
27		北陸ブロック真宗青年のつどい・岐阜（～28日）
29	常任委員会	ヤスクニ問題専門委員会
30	組長会	教学研究室
10月		
1	教務所午後から休業 ※職員研修会のため	
3		ビハーラサロン
6	連研研修講師研修会	
8		講社役員会
9		仏婦実践運動研修会
14	常例法座	
16	聖典セミナー	
18		仏壮パークゴルフ
28		コーラス（午前）

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

平素より法輪せんべいをご愛顧いただきましてまことにありがとうございます。

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAXでのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

法輪せんべい専用電話サービスは終了いたしました。

今後は下記公式 LINE 若しくはメールにてご注文ください。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

お申込み先

高岡教務所内(寺族青年会担当)

メール [hourin18@gmail.com](mailto:hourin18@gmail.com)



ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

●10月12日（日）

圓山望師

（高岡教区）

●10月26日（日）

濱野信宏師

（高岡教区）

※高岡教区及び富山教区が主催し、北日本放送（KNB）にて毎週日曜日午前6時から放送しております「西本願寺の時間」は、放送を継続しております。

また、西本願寺では、動画配信サイトを設置し法話等を配信しております。ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>



【西本願寺高岡会館10月の常例法座】

ご講師：池内瑞雄師

（新湊組円徳寺）

ご講題：『未定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。